

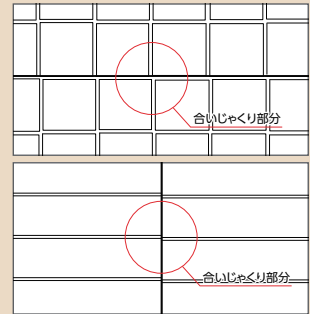
Fu-ge 施工資料



- ・本施工資料では主にドライジョイント工法による施工方法をご紹介します。
シーリング納めの施工方法は最新の設計施工資料集をご参照ください。
- ・水平方向に連続する壁面が長い建築物に四方合いじゃくり品を施工する場合は、緩衝目地(エキスパンションジョイント)として15m以内毎にシーリング目地を設け、横ずれ防止のビス留めをしてください。(詳細は最新の「COMMERCIAL WALLカタログ」をご参照ください。)
- ・サンルーム、風除室、庇など後付けの付帯工事をご検討の際は、事前に取り扱いメーカー、施工業者様へご相談ください。
- ・最新の知見や検証結果に基づき、予告なく記載内容が変更になる場合がございます。最新の情報は弊社ホームページで随時更新しております。

■ 四方合いじゃくり品についての外観上のご注意

- ・弊社四方合いじゃくり品は「実(さね)」どうしを繋ぎ合わせて施工します。このため板間の繋ぎめが見える設計となります。日の当たり方や見る角度によっては影が発生する場合や、板間の繋ぎめや隙間が目立つ場合がございます。隙間が生じた場合でも、止水性に問題はありません。
- ・化粧目地について、化粧目地寸法精度は±1.5mmとなっていますので、設計上の目地のずれを含めると、接合部で化粧目地の通りが2mm前後ずれる場合がございます。
- ・自然の風合いを演出するために柄デザインの特性上凹凸がありますので、板間や出隅部との接合部で段差が生じる場合がございます。



■ 隙間補修用パテ材についてのご注意

- ・四方合いじゃくり品の施工は極力隙間ができないよう、丁寧に施工してください。外観上隙間が生じた場合でも、止水性や外壁の性能に影響はありません。
- ・四方合いじゃくり品左右接合目地の隙間が目立つ場合のみ、隙間補修用パテ材を使用し必要最小限の範囲で補修してください。
- ・同梱のマスキングテープでしっかり養生を行い、パテ材がはみ出さない様に十分に注意して施工してください。
- ・本パテ材は釘・ビス頭部の補修やキズ・欠けの補修には使用できません。また、パテ材に塗装はできません。
- ・本パテ材の色はイメージ色で調色しています。多色塗装品など、パテ材の使用により意匠性を損なう場合は、状況に応じてオート化学工業(株)製の「オートアドハー3500」(+補修液)を使用してください。
- ・パテ材は、使用する環境や状況によって短期間で切れや褪色(白化)が起きたり、汚れが付着する場合がございます。色違い、切れ、白化、汚れ等のパテ材に関わる事項は免責とさせていただきます。

■ 国土交通大臣認定番号

		Fu-ge PREMIUM	Fu-ge
区分	部位	認定番号	
1時間準耐火構造	外壁(耐力)	QF060BE-9225	
	間仕切壁(耐力)	QF060BP-9069	
	柱	QF060CN-9031	
45分準耐火構造	外壁(耐力)	QF045BE-9226	
	間仕切壁(耐力)	QF045BP-9070	
	柱	QF045CN-9032	
防火構造	外壁(耐力)木造下地	PC030BE-9201	
	外壁(耐力)鉄骨下地	PC030BE-9202	
準不燃材料		QM-0639 (基材名称:木質系繊維混入セメントけい酸カルシウム板)	

※防・耐火大臣認定が必要となる場合は、あらかじめ大臣認定別添の記載事項をご確認ください。

注)こちらでご紹介する「ドライジョイント工法」は、鉄骨下地ではご使用いただけません。Fu-ge(シーリング納め)の場合は、鉄骨下地でご使用いただけます。

CONTENTS

1 適用範囲・仕様一覧

1) 対象商品	2
2) 適用構造	2
3) モエンの施工方法	2
4) 部位別施工仕様一覧	2
5) 防水強化仕様	2

2 左右接合部

1) 納まり図	3
部分的に受け材を用いた施工（胴縁金具工法）	3
メーターモジュール等柱間での施工（通気金具工法）	4

3 出隅部 ドライジョイント工法

【実接合】

1) 納まり図	6
2) 施工手順	6

【突き付け接合】

1) 納まり図	8
2) 施工手順	8

4 ポーチ柱・袖壁部 ドライジョイント工法

1) 納まり図	10
2) 施工手順	10

5 入隅部 ドライジョイント工法

1) 納まり図	12
2) 施工手順	12

6 開口部 ドライジョイント工法

1) 開口部 施工仕様一覧	14
2) サッシの確認	14

【開口部仕様Ⅰ】

1) 納まり図	15
2) モエン最小必要寸法納まり図	16
3) 施工手順	17
4) 玄関部・掃き出し窓施工仕様	20

【開口部仕様Ⅱ】

1) 納まり図	22
2) モエン最小必要寸法納まり図	23
3) 施工手順	24
4) 玄関部・掃き出し窓施工仕様	26

7 手すり壁部 防水強化仕様

【スポットガード バルコニー端部用・スポットルート】

1) 使用箇所	28
2) 製品仕様	29
3) 施工手順	28

ドライジョイント工法の
標準施工動画はこちら▶



1 適用範囲・仕様一覧

1) 対象商品

モエンエクセラード16、18、21 四方合いじゃくり品限定(イモ張り施工のみ)

注) 縦張り工法には使用できません。ウマ張り施工には対応していません。

2) 適用構造

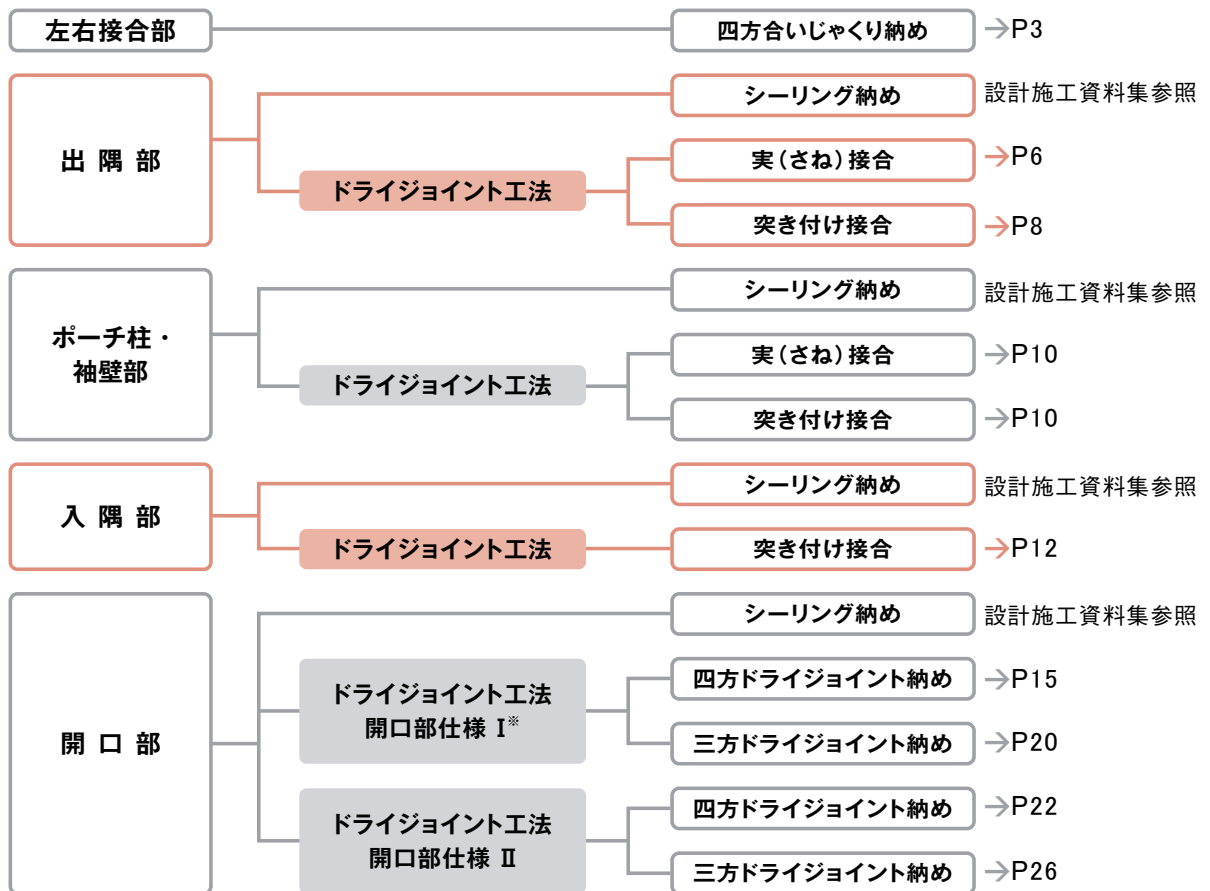
木造軸組工法／木造枠組壁工法

注) こちらで紹介する「ドライジョイント工法」は、鉄骨下地ではご使用いただけません。Fu-ge(シーリング納め)の場合は、鉄骨下地でご使用いただけます。

3) モエンの施工方法

横張り 胴縁金具工法／横張り 通気金具工法

4) 部位別施工仕様一覧



※ 21mm厚品は開口部仕様 I に対応していません。

5) 防水強化仕様

手すり壁部 スポットガード・スポットルートの施工仕様 →P28



- ・ドライジョイント工法はモエンエクセラード四方合いじゃくり品横張り限定の工法です。10尺品には使用できません。
- ・納まり上、部分的にシーリング納めとなる場合があります。
- ・ドライジョイント工法はモエンエクセラードの加工精度、施工精度が求められる工法ですので、細心の注意を払って施工してください。
- ・土台水切を基準としたスターターの取り付けや基礎パッキン上端を基準としたスターターの取り付けは水平が確保できない場合がありますので、基準墨を出してから施工してください。
- ・スターターの水平が確保できない場合は、左右接合部に隙間が生じる場合がありますので、必ず水平を確認して、施工してください。
- ・躯体の倒れなどの下地精度が出ていないと、施工が非常に難しくなりますので、注意してください。
- ・施工の際は、最新のカatalog・設計施工資料集をご参照ください。
- ・ドライジョイント工法では専用の設定部材を使用してください。